



# 2024事業計画

鹿児島情報高等学校



# 学校の目的

- 生徒・保護者・教員職員がウェルビーイングを感じる場所
- 生徒が主体的に自分をつくる場所
- 多様性を認める場所

# 事業目標

- 生徒・保護者・教職員のウェルビーイングを達成する
- 保護者と教職員がチームで生徒の伴走者になる
- 地域に評価される学校になる

# 生徒・保護者・教職員のウェルビーイングを達成する

## ウェルビーイングとは

- \* 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
- \* 多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることを含む包括的な概念。

# 生徒・保護者・教職員のウェルビーイングを達成する

## 日本発・日本社会に根差した ウェルビーイングの向上

日本の社会・文化的背景を踏まえて、我が国において、**自己肯定感**や**自己実現**などの**獲得的な要素**と、**人とのつながり**や**利他性**、**社会貢献意識**などの**協調的な要素**を調和的・一体的に育み、日本社会に根差した「**調和と協調**」に基づくウェルビーイングを教育を通して向上させることが求められている。

文部科学省 第4期教育振興基本計画から

# 生徒・保護者・教職員のウェルビーイングを達成する

個人が獲得・達成する  
能力や状態に基づく  
ウェルビーイング  
(獲得的要素)

- ・自己肯定感
- ・自己実現 など

人とのつながり・関係性に  
基づくウェルビーイング  
(協調的要素)

- ・利他性
- ・協働性
- ・社会貢献意識 など

両者を調和ある形で一体的に  
向上させていくことが重要



# 生徒・保護者・教職員のウェルビーイングを達成する

## 教育とウェルビーイング

- \* 不登校やいじめ、貧困など、コロナ禍や社会構造の変化を背景として子供たちの抱える困難が多様化・複雑化する中で、一人一人のウェルビーイングの確保が必要。
- \* 子供・若者に、つながりや達成などからもたらされる自己肯定感を基盤として、主体的や創造力を育み、持続可能な社会の創り手の育成を図る。
- \* 地域における学びを通じて人々のつながりやかかわりを作り出し、共感的・協調的な関係性に基づく地域コミュニティの基盤を形成。

# 生徒・保護者・教職員のウェルビーイングを達成する

## 教育に関連するウェルビーイングの要素

自己肯定感

心身の健康

幸福感  
・現在と将来  
・自分と周りの他者

協働性

社会貢献意識

学校や地域でのつながり

自己実現  
・達成感  
・キャリア意識 等

安全安心な環境

多様性への理解

利他性

サポートを受けられる環境

## 教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上

## 各要素を育む教育活動の例

### 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実

- 子供たちの多様な状況に応じた学習者主体の学び、多様な他者と協働した学び
- きめ細やかな指導を通じた確かな学力の育成



### 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂による共生社会の実現に向けた学び・生徒指導

- 特別支援教育、いじめ・不登校対応 等



### 地域や家庭で共に学び合う環境整備

- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 社会教育を通じた地域コミュニティ形成



### キャリア教育・職業教育、課題解決型学習

- 社会的・職業的自立に向けたキャリア発達
- 地域や社会の課題解決型学習



### 豊かな心・健やかな体の育成、安全・安心

- 道徳教育、体験活動、学校保健の推進
- 学校施設の整備、学校安全の推進



### グローバル社会における国際交流活動

- 海外留学推進、外国人留学生受入れ
- 地域社会の国際化、多文化共生



主観的認識のエビデンス把握



# 生徒・保護者・教職員のウェルビーイングを達成する

## 教師のウェルビーイング 学校・地域・社会のウェルビーイング

子どもたちのウェルビーイングを高めるためには教職員をはじめとする学校全体のウェルビーイングが重要。

また、子どもたち一人ひとりのウェルビーイングが、家庭や地域、社会に広がっていき、その広がりが多様な個人を支え、将来にわたって世代を超えて循環していくという姿の実現が求められます。

# 生徒・保護者・教職員のウェルビーイングを達成する

子供たちのウェルビーイングが家庭や地域、社会に広がっていき、その広がりが多様な個人を支え、将来にわたって世代を超えて循環していく姿の実現が求められる。



# 保護者と教職員がチームで生徒の伴走者となる

原田学園理念の遵守

「心の持ち方」を共に学ぶ学園（学園HPへ）

**教職員が常に意識すること**

**「子ども心を守り，子どもの夢を見守る」**

# 保護者と教職員がチームで生徒の伴走者となる

## 本学と末学の共通認識・共通言語

- 「**本学**」 特性を養う学問「人間学」 ex**建学の精神**
- 「**末学**」 知識、技能を養う学問 ex進学実績、部活実績

「その**本**乱れて**末**治まる者はあらず（本末転倒）」

～古典「四書」の一つ。「大学」からの引用～

人間として正しい道を求める「**本学**」を常に**先とし**、生きるうえで必要とする知識・技能といった手段の修練を「**末学**」として**後に置く**。

その順番を間違えてはいけない。

# 保護者と教職員がチームで生徒の伴走者となる





# 保護者と教職員がチームで生徒の伴走者となる

## <生徒の視点>

### 個別最適化の実現

生徒一人ひとりがワクワクして、主体的に学べる学校

### 多様性を認める

安心・安全に過ごせる学校

### 進路保障

個人の希望にあった多種多様な進路が実現できる学校

**生徒の夢を一つでも多く叶えることこそが満足度の向上**

# 保護者と教職員がチームで生徒の伴走者となる

## <保護者の視点>

### 情報共有(学校・学年・クラス・部活)

情報提供や報告・連絡・相談や節目の便り (BLEND)

### 部活顧問とのコミュニケーションと目標共有

保護者の負担も大きいことから、部活の目標・指導方針・練習計画等を丁寧に説明し、理解と協力を求めることが必要不可欠である。(BLEND)

生徒を預けることへの安心感こそが満足度の向上

# 保護者と教職員がチームで生徒の伴走者となる

## <教師の視点>

### 情報共有（学校・学年・クラス・部活・生徒支援）

\* 生徒支援：進路・資格・保健室・教育相談・Mirale・事務室

教師間の情報提供・共有・連携の強化：チーム担任制

### DXによる業務の効率化

授業や評価でICTの活用（CBT導入やデジタル採点）

### 働き方改革

仕事の効率化と平準化

チームで生徒の個別最適化を実現する



## 地域に評価される学校になる

学びで得た知識や技術が社会に貢献している。  
各種全国大会や県大会での部活・クラス・個人の実績。  
→生徒の自己肯定感も高くなっている。

「高校で何を学んだか・経験したか」が問われており、本校の「学歴・経験」が進路実現に大きな結果として現れている。

地域貢献を積極的に行い、公共団体・企業との連携を深めていきたい。特に地元谷山 や鹿児島市での地域貢献を柱とする。

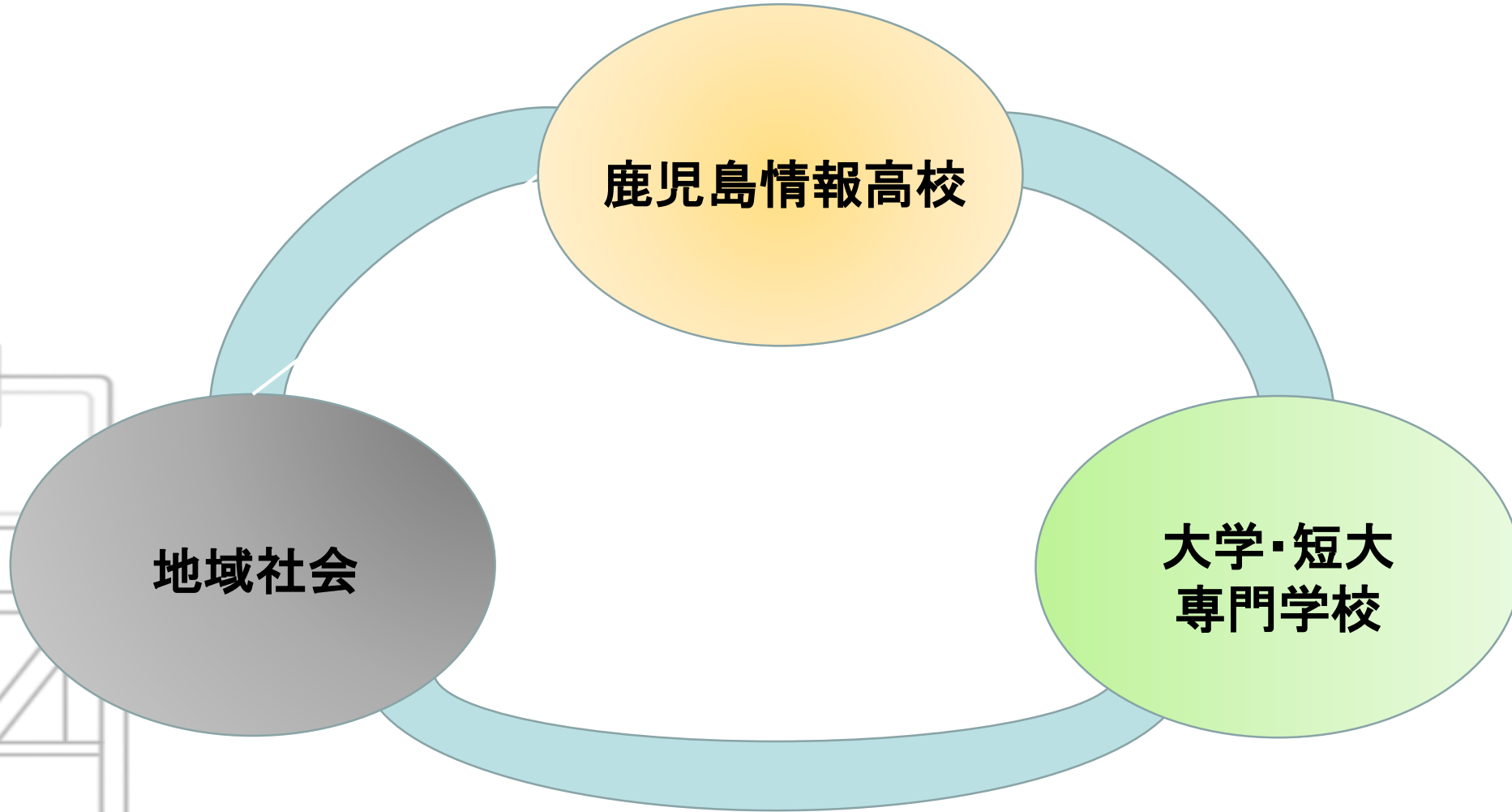
## 地域に評価される学校になる

鹿児島県の課題は若者の県外流出ある。本校の学びを通して、生徒が将来的に鹿児島に貢献することが重要であり、卒業生が鹿児島の担い手になることが大切である。

地元企業が求める人財を育成することが、本校の大きな役割である。このためには、教職員が「地域を知る」・「企業を知る」・「未来を考える」等の知識と技術が必要になる。

**生徒・教職員が社会と繋がるが大切である**

# 社会と繋がる





**「スタートアップ」(行動開始・操業開始)**

**「アントレプレナーシップ」(起業家精神)**

**鹿児島県起業支援プロジェクト事業**

Kagoshima Entrepreneurship Program

**高校教育改革に関する調査 2022**

# 「気づき・考え・実行する」 学校づくり

## 〈生徒の視点〉

### **主体的な学び**（なぜ学ぶ・何を学ぶ）

探究活動（PBL）・ICTの活用

### **集団生活で必要なこと**

インクルーシブ教育・身だしなみ 3 原則

### **PDCAサイクルの実践**

計画・実行・確認・改善サイクルの重要性

# 情報GP

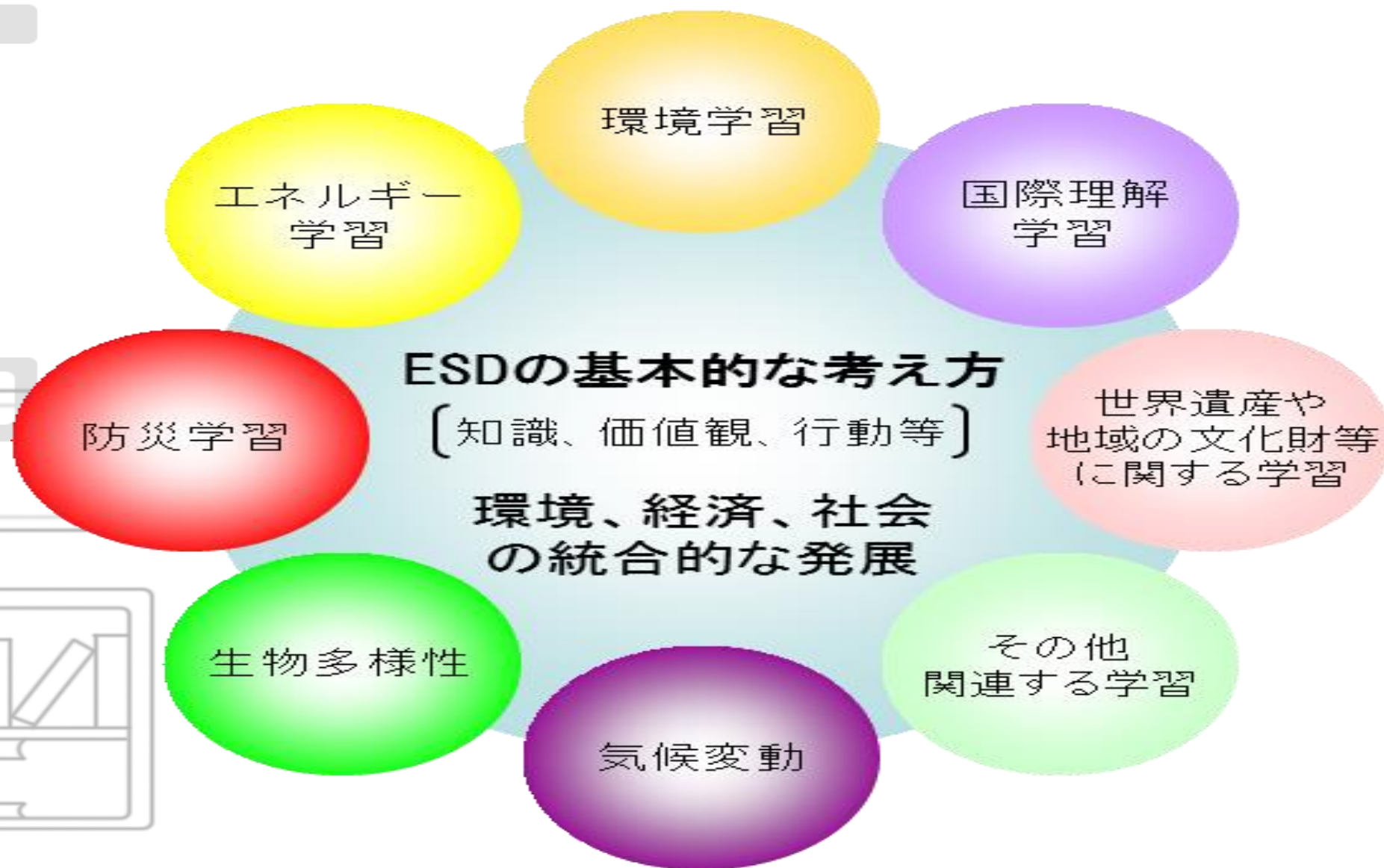


# SDGs「持続可能な開発目標」





# ESD「持続可能な開発のための教育」





# 「気づき・考え・実行する」 学校づくり

## ＜教師の視点＞

**どの様に主体的に学べる環境を保障するか**

探究活動（PBL）・ICTをどう使うか

**学校生活で必要とされていること**

インクルーシブ教育・身だしなみをどう伝えるか

**人生設計で大切なこと**

PDCAサイクルをどう実行させるか

# STREAM教育の実践

S : Science (科学)

T : Technology (技術)

R : Robotics (ロボット技術)

E : Engineering (工学)

A : Art (芸術)

M : Mathematics (数学)

# 「気づき・考え・実行する」 学校づくり

## ＜教師の役割＞

### コーチング・トーキング（研修強化）

主体的な学びの方法を導く・生徒の心に灯をつける

### 伴走者・支援者

主体的・協動的な学びが出来る環境を創る

### 社会と繋ぎ未来につなげる

個別最適な進路実現

# 「気づき・考え・実行する」 学校づくり

## ＜教師の義務＞

### インプット・アウトプット

積極的な研修・イベント参加や視察の実施と変化

### 現状打破

主体的な学びを保障する授業改善や組織改編の実施

### 安心・安全な環境創り

気配り・目配り・心配り

# 学科選択の学校

学科主導の学科方針に沿ったカリキュラム編成

生徒が授業を選択できる「JOHO未来タイム」講座開設

カリキュラムや予算計画の主体は学科

入試判定の責任は学科

# スクールポリシー(学科単位)

## グラデュエーション・ポリシー(育てる生徒像)

学校教育活動を通じて、どのような資質・能力を育むことを目指すのか。

## カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施に関する方針)

「育てる生徒像」の実現のために求められる教育課程をどのように編成・実施するのか。

## アドミッション・ポリシー(求める生徒像)

各学校で行われる教育活動に基づき、どのような生徒を受け入れるのか。



## 鹿児島情報高等学校のあるべき姿 —学園方針—

学校(学業・部活)で、自らの夢を**創**ってほしい

この主語は**生徒**と**先生**です。

生徒・先生が「学び」ながら「創る」学校

生徒・先生・学校の

「現状打破」「否定の精神」「正しさの追求」

最後まで目を通していただきありがとうございました